



須坂市立小山小学校だより

令和8年3月17日

栃の子だより

栃の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人

No.10 文責：教頭

須坂市立小山小学校

「栃の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人」
卒業・進級 おめでとう (3学期終業式 学校長のお話より)

学校自己評価【よく当てはまる、だいたい当てはまる】

①学び合い(まなびあい)

○目標1「授業がよく分かる」90%

・授業は分かりやすい・・・95%(91%)↑

○目標2「授業では、自らの課題を設定し、自分で考える」80%

・学習や活動など自分からやりたいことを見つけ、取り組むことができる・・・85%(83%)↑

②響き合い(ひびきあい)

○目標3「学校が楽しい」90%

・毎日、楽しく学校生活を送っている・・・92%(92%)→

○目標4「困ったら解決策を見つけるために話し合うことができる」85%

・困ったことがあっても解決策を見つけるために話し合うことができる・・・91%(90%)↑

③鍛え合い(きたえあい)

○「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦できる」80%

・むずかしいことでも、
しっばいを恐れないで挑戦している・・・89%(89%)→

今日で3学期が終了します。3学期後半は、インフルエンザ等の影響もなく、無事、令和7年度を終了することができます。皆さん、1年間、本当によく頑張り、大きく成長しましたね。

←これは、学校自己評価の結果です。目標を全て上回りました。先生方とみなさんで創り上げてきた成果です。素晴らしいと思います。「学校が楽しい」については、100%になればいいなと思います。そのためにどうすれば良いか、校長先生も、これからしっかり考えていきたいと思っています。本校の3つの柱について写真で振り返ってみましょう。

学び合い

(考えることを楽しめ、授業づくり)



響き合い

(多様性を認め合う学びの環境づくり)



響き合い

(多様性を認め合う学びの環境づくり)



鍛え合い

(失敗を恐れず挑戦できる環境づくり)



小山小学校が今年も大切にしてきたことの一つは、学習における学び合いです。考えることを楽しむ授業づくりに取り組んできました。

「わからない」「わかった」が言える安心感のある教室。自分が学びやすい‘学び方’を選んで安心して追究している姿。一人一人選んだ学び方を互いに尊重している姿。否定しない雰囲気。自由に考えていい、相談していい、失敗していいという学びの安心感をめざし、全校のみなさんと先生方であつてきました。

11月には「学び合い」の公開授業、統計教育の全県公開授業の会場となりましたが、県内の先生方からみなさんの学び合う追究をたくさん褒めていただきました。

2つ目は、響き合いです。一人一人の個性を大切にする、多様性を包み込む学びの学校づくりを進めてきました。特に、小山小学校の人権教育活動のテーマとして「ふれ合い 学び合い 認め合い～自分も友だちも大切にできるように～」を設定し「小山小学校 なかよし宣言」も策定しました。多くのお友だちとかかわりながら、相手のことを思いやったり、寄り添ったりすることの大切さに気づいたり、たくさんの仲間と一緒に活動する喜びや創り上げる達成感を感じたりできる姿が増えてきました。

3つ目は、鍛え合いです。皆さんが、失敗を恐れず挑戦できる学校を目指してきました。一年生や二年生の清掃の姿。すばらしいですね。遊ぶときは学級を越えてみんなで遊べる元気で優しい姿。どれも素晴らしい小山小学校の姿です。特に今年は、多くのお友だちがホールでのミニコンサートに参加してくれました。お友だちの表現している姿に感動し、「私もチャレンジしたい！」と2時間目休みのホールが賑やかになりました。みなさんの心は大きく成長しています。

3学期終業式は、1年間の学びの修了式

- ・「節目」…ふしめ
物事の区切りとなる大事なところを指す
- ・せつもくとも読みます。
「ふしめ」よりもさらに小さい区切りのこと
- ・将棋の藤井聡太さんの表現(50勝目は大きな区切りではなく、まだまだ続く途中経過に過ぎない。もっともっと先に進んでいく)
- 六年生…小学校生活の節目(ふしめ)
- 在校生…今の学年と次の学年をつなぐ、まさに「せつもく」の日

**新しい「出会い」のために
「別れ」の自覚ができた3学期!!**

**17日をもって、令和7年度の202日間、
3学期の46日間すべて終了です。**

**一人一人の成長は、自分の頑張りとお友だちのおかげです。
みんなで「ありがとう」を言いましょう。**

ありがとうございました。

さて、「節目」と書いて何と読むでしょう? 「ふしめ」ですね。節目は、物事の区切りとなる大事なところを指す言葉です。

今日は、3学期終業式ですが、これから皆さんがもらう通知表は、修了証です。ですので、3学期終業式は修了式でもあります。

まさに今の学年から次の学年への区切りでもあります。このふしめという字ですが、将棋の藤井聡太さんが、通算50勝をあげたときに「せつもく」という表現をされました。

「せつもく」とは、「ふしめ」よりもさらに小さい区切りのことを意味します。

つまり、50勝目は大きな区切りではなく、まだまだ続く途中経過に過ぎない。もっともっと先に進んでいく…という決意を「せつもく」と表現されたのかもしれない。

今日は、六年生にとっては、小学校生活という点では、節目(ふしめ)。在校生にとっては、今の学年と次の学年をつなぐ、まさに「せつもく」の日です。明日は卒業式。6年生にとって最高の卒業式にしましょう。

(最後に)

**お世話になった6年生のために
最高の卒業式を
17日 全校で創り上げよう
みなさんにとって、
小山小学校にとって
大切な節目(ふしめ・せつもく)
の日です**

おわり

今年度でお別れする先生方

本日卒業式後、離任式が行われ、12名の職員が本校を離れることになりました。保護者の皆様、地域の皆様には、大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

氏 名	役職・所属等	移動先学校等

年度末から令和8年度当初の主な日程及び予定

新年度の予定につきましては現段階の計画ですので、変更もあることをお含みおきください。新学期が始まりましたら、改めて年間行事予定表でお知らせいたします。

【年度末の予定】

3月18日(水)～ 4月5日(日) 春休み

3月24日(火) 新1・3・5年 学級編制発表と PTA 役員選出

新5学年発表 13:00 PTA 役員選出 13:20

新3学年発表 14:00 PTA 役員選出 14:20

新1学年発表 15:00 PTA 役員選出 15:20

新南2・3組発表 13:00～15:00

3月25日(水) 正副学級会長会・専門部会 16:30 PTA 新役員総会 17:15

3月26日(木) 新5・6年生の新年度準備のための登校

登校時刻 8:40

新5年生下校 11:00 新6年生下校 11:20 新3役下校 11:35

【4月の予定】

4月 6日(月) 新学期始業式・入学式

新6年生登校 8:00 新2～5年生登校 8:10～8:25

学級指導 8:30～8:40 一学期始業式 8:50～9:20

入学式 10:20～10:50 学級指導 11:10～11:50 2～6年下校 12:00

4月 7日(火) 給食開始(2年生以上)

4月 7日(火)～10日(金) 2～6年生5時間授業

4月 9日(木) PTA理事会

4月10日(金) 避難訓練

4月13日(月) 1年生給食開始 町別子ども会①

4月15日(水) 図書館開館

4月17日(金) 総合学力調査

4月21日(火) 児童総会①

4月22日(水) 学校開放日(授業参観日) PTA総会

4月23日(木) 全国学力学習状況調査(6年)

4月27日(月)～30日(木) 家庭確認 5時間授業

4月28日(火) 1年生を迎える会



子どもたちが教えてくれたこと

私（教頭）が小山小に赴任してからもう1年が経ちます。4月の入学式の次の日、昇降口（下駄箱の前）であいさつをしながら迎えていた私の前で、突然1年生の女の子が泣き始めました。

「どうしたの？」「大丈夫だよ！」「よく来たね！」「教室まで一緒に行く？」私がどんな言葉をかけてもその子は何の反応もなく、ずっと泣いたままでした。どうしようかな…と困っていると、登校してきた別の1年生の女の子がその子にそっと近づきました。その子は何も言わずに、泣いている子の手を取って、5cmくらいずつゆっくり一緒に下駄箱の奥に進んでいき、何も言わずに、その子の上履きを棚から出して下に置いてあげました。泣いていた子はまだ泣きながらではありましたが、上履きをはいてまた、その子と少しずつ少しずつ1年生の教室に向かっていきました。まだ顔と名前が一致していない私にとって、泣いていた子が誰だったのか、その手をやさしく引いていってくれたのが誰だったのかは分かりません。ただ、私にとっては衝撃的な2日目だったのを今でも覚えています。もしかしたら、その子は同じ保育園の友達だったのかもしれませんが、困っている友達に何も言わずに手を差しのべる姿。これって、なかなかできることではありません。私は1年生のその姿に「寄り添う」ということの意味を教えられました。

3学期、こんなこともありました。給食のコンテナ室の前で、食器の返却時に垂れてしまったお汁のあとを私がふいていると、そこにちょうど返却に来た高学年の子が「すみません。ありがとうございます。」と私に声をかけてくれました。別にその子がこぼしたわけではないのですが、その子は、私が汚れをふいているのを見て、とっさに何かを感じたのでしょうか。その子の言葉は、「なんでこぼしていくんだよー」とちょっとざわざわしていた私の心をあっという間に消し去ってくれました。

一日一日子どもたちは、多くの人とかかわり、様々な環境下で多くの経験を経て、感謝の気持ちや相手に思いを寄せることの意味を学んでいるのだと思います。そんな心豊かな子どもたちが小山小にはたくさんいます。多くの子どもたちのそんな姿にお互い助けられ、笑顔をもらい、明日もがんばろうと前を向くことができた人がたくさんいるのだと感じています。

保護者の皆様には、一年間学校運営にご協力をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。



職員がミニコンサートでライラック♪を演奏



合唱団さよならコンサート 一年間お疲れ様でした！



6年生の皆さん、卒業おめでとう。この1年、学校を引っ張ってくれたことに感謝です。ありがとう。